

ピンチはチャンス

令和2年. 9. 7
南鶴牧小学校 校長 関口寿也
6年担任

小学校生活最後の夏休みが終わりました。短い休みであつという間に終わってしまったのではないでしょう

か。コロナ禍で、多くの行事が中止になり活躍の場が少なくなっていますが、こんな時にでも何ができるのかを考え、子供たちと一緒に小学校最後の1年が有意義なものになるように取り組んでいきたいと思っています。

本日の内容

【学年会】(15:20~) 体育館

はじめに ピンチはチャンスプロジェクトの実行委員から

- ① 前期の様子について
- ② 通知表「あゆみ」について (評価基準)
- ③ 9月以降の予定
- ④ ピンチはチャンスプロジェクトについて

① 前期の様子

- 学習
- 35分7時間の授業時間の実施により、今年度中にすべての学習内容を終える予定。習いごとの時間の増加等により学習リズムを作れない子供たちが増えている。
 - 生活のリズムの乱れや、新型コロナウイルス感染症への不安等による睡眠不足とを感じる子供もいます。
- 生活
- 休校中から増えたオンラインによるゲームによるトラブル SNS 同様に、保護者の方が使用時間や課金、使用方法についてしっかりと管理してください。また、大人もどのようなゲームをどんな人とやっているのか、知る必要があります。
 - 多くの行事や取り組みが制限される中で、最高学年6年生の実感が薄くなってしまっています。今後、6年生としての自覚がもてる取り組みを行っていきたいと思っています。

② 通知表(あゆみ)について

今年度は、前・後期制のため通知表(あゆみ)は9月末と3月の卒業式前にお渡しします。テストの点数だけでなく、授業での発言の様子、学習への取り組み状況、提出物、ノートの取り方なども考慮に入れています。学習の振り返りをするのがねらいである「あゆみ」です。結果だけを子供に問い、求めるのではなく、後期はどうしたらよいかを考えるきっかけにしてください。

※今年度から、学習指導要領が変わり評価の項目や基準が変わりました。(別紙参照)
ポイント ・評価項目が各教科 3つに整理されました。
・外国語が教科になり他の教科同様の評価になります。(3段階で評価)

※今年度は、風邪症状(発熱・鼻水等)と新型コロナウイルス感染症に関するお休み(同居の方の発熱や感染の不安等)に関しては出席停止扱いになります。風邪症状の場合は、出席停止として記録していますが、欠席理由が体調不良等の場合によっては、欠席になっている場合があります。欠席・出席停止の日数の確認が必要な方は、9月11日までに担任まで連絡をお願いします。(あゆみ配布後の訂正は、訂正印での対応になります。)

※私立中学等の受験をお考えの方へ

今年度は、12月に通知表をお渡ししません。私立中学の受験に通知表のコピーを必要とする学校が多数あります。必要な方は今回お返しした際に、各ご家庭でコピーを取っておいてください。中学受験に関する書類の提出等については12月の保護者会でお話します。

③ 9月以降の予定

中止の行事 10月17日(土) 運動会 中止
(運動会が中止のため振替休業日の設定はありません)
11月26日(木) エコプロ2020 開催中止

今後、保護者の方が学校にくる行事 (予定)

10月31日(土) セーフティ教室 引き渡し訓練
12月7日(月) 保護者会
内容 卒業・進学に向けて
卒業アルバムの支払いについて

※今後の行事についても、状況により中止となることが考えられます。

④ ピンチャンプロジェクトについて

ピンチャンプロジェクトの正式な連絡が保護者の方へ遅くなってしまい、本当に申し訳ありませんでした。現在決まっていることについて、お知らせいたします。他の行事と同様に、これからの新型コロナウイルスの感染状況によっては大きく変わることがあります。

【思い】

八ヶ岳移動教室がなくなり、「子供たちが自分たちで創り上げる行事をしたい。」という担任の思いから今回の活動が出発しました。

【今までの取り組み】

休校後の6月から取組が始まり、八ヶ岳で自分たちがやりたかったことは何か、今できることは何かを、みんなで出し合って考えてきました。

個人で考え→班で整理をして学級で共有→実行委員が全体をまとめる→各学級で確認

上記の活動を通して子供たちが決めたものが次の通りです。

★テーマ 「最絆」 きずなと読ませる。最高の思い出にしたいという意味も込められている

★活動内容 「泊まる」 どの学級も一番多かった意見
コロナ禍で、バス移動は無理という結論から学校なら泊まれるだろうと
学校に泊まることを活動の中心にした計画を作成開始。

夏休み前に 実行委員 食事 保健・入浴 寝具・清掃 レク 会計の係に分かれ
実現に向けて具体的に活動が動き出したところでした。

【コロナ禍】

夏休みが開けて、具体的に実施可能日を職員で検討しました。しかし、現在の感染の状況を考えると、10月に泊りでの実施は難しいとの判断に至りました。職員で、泊りをやめてレクのみの実施という選択も考えました。しかし、子供たちの最初の思いは「泊まる」にありました。そこで再度、実行委員を中心に検討をしました。そして、全員が、自分の意見を文章としてまとめました。

- ・寒い時期でも泊りたい。
- ・泊まるのが最初の目的だった。
- ・泊まりたいけれど、何もできなくなるかもしれないのならば、とにかくレクだけでもやりたい。
- ・みんなで何かをやるのが大切だから、泊りはあきらめてレクでもいい。
- ・泊まることで、感染してしまったらほかの人たちにも迷惑をかける。
- ・泊まるのはマスクを外すので感染のリスクが高いのでやめた方がいい。
- ・泊まらなくてもできることはある。

それぞれが様々な思いを書いてくれました。誰かが答えを見つけてくれるのではなく、自分で考え自分の思いや現在の状況、不安、いろいろなことを考え悩んでいる様子が感じられました。

【今後】

子供たちが出した結論は、泊りのチャンスを残すことでした。11月中に宿泊が無理なときには、泊まる以外のレクのみを実施するという結論です。当然、多くの子供たちは、全員で泊まりたいという気持ちには変わらないようですが、やはり不安のある子供たちもいます。夜になったら家に帰る。朝また登校して参加する。ということも考えているようです。

しかし、宿泊を伴う活動には保護者の方の同意が必要です。保護者の方のご意見をお聞きして、再度、子供たちと一緒に考えていきたいと思っております。